

令和5年8月21日

市民の皆さまへ

庄原市役所 口和支所長
(総務室)

Tel. 0824-87-2111

fax. 0824-87-2057

行政文書の発行について

令和5年8月21日付けの行政文書をつぎのとおり発行します。



<回 覧>

1	市営住宅(公営住宅)入居者募集のお知らせ	環境建設部 都市整備課
2	庄原市高齢者等生活支援施設の入居者募集のお知らせ	口和支所 地域振興室
3	しょうばら脱炭素地域推進ニュース	環境建設部 環境政策課
4	ショッピングセンターがん検診のご案内	生活福祉部 保健医療課
	生活習慣病健康診査のご案内	生活福祉部 保健医療課
5	令和5年度こころの健康講座のご案内	生活福祉部 保健医療課
	こころの健康に関する出前トークのご案内	生活福祉部 保健医療課
6	第19回市美展作品募集のご案内	田園文化センター
7	ふろむざすいむ	教育部 西城教育室
8	庄原市上野総合公園だより	上野総合公園
9	国営備北丘陵公園イベントのご案内	企画振興部 商工観光課

裏面へ続く

10	庄原さくらスポーツクラブだより	教育部 生涯学習課
11	総合体育館だより	教育部 生涯学習課
12	令和5年度子供文化教室「子供俳句講座」受講者募集のお知らせ	教育部 生涯学習課
	令和5年度庄原市委託事業 認知症講座(第20回記念)「認知症・自分のこととして」	生活福祉部 高齢者福祉課
13	庄原市老連 広報 第42号	生活福祉部 高齢者福祉課
14	西城市民病院だより「すずらん」第49号	生活福祉部 高齢者福祉課
15	よちよち通信 8月号	口和支所 地域振興室
16	道路斜面の安定度調査について	広島県北部建設事務所

〈各戸配布〉

1	しょうばら市議会だより第76号	議会事務局
2	セルフコンディショニング講座について	庄原市社会福祉協議会 口和地域センター
3	ふれあいひろば	口和自治振興区
4	口和防災だより	口和自治振興区
5	#口和が好き	口和自治振興区
6	第17回 口和モーモー祭 焼肉チケット販売について	第17回口和モーモー祭 実行委員会事務局



この夏は猛暑が続きました。そろそろ暑さも少しは落ち着いてほしいですね。十分な睡眠と食事を心がけ、疲れを残さないようにしましょう。



すくすく子育て広場(高野)

日時: 9月 5日(火) 10:00~12:00

場所: 高野子育て支援センター
(高野保健福祉センター内)

持参物: 水分補給できるもの

☆『歯磨き指導』

宮崎歯科クリニックの歯科衛生士さんに来ていただきます。歯磨きの仕方を教えてもらいましょう。

【保育所開放・口和】

日時: 9月 20日(水)
10:00~11:00

場所: みどり園保育所

内容: 保育所の子どもたちと一緒に、
園庭や室内で遊びましょう。

連絡先: みどり園保育所

0824-87-2646

口和子育て支援センター

0824-89-7070

第3水曜日の
「保育所開放日」には
支援センターからも出かけます。
保育所の様子を知ることができますよ。



※ご利用の際には、検温、手洗、消毒をお願いします。体調不良の場合は利用を控えましょう。

令和5年8月21日

発行: 口和子育て支援センター(口和老人福祉センター内)
庄原市口和町永田 415-4 TEL0824-89-7070

一般社団法人里山こども未来会議

庄原市西本町 2-8-11 TEL0824-74-6636

口和支所地域振興室市民生活係

庄原市口和町向泉 942 TEL0824-87-2112

【開設日・時間】

●口和子育て支援センター●

月曜日、水曜日、木曜日(祝日を除く)

●比和子育て支援センター●

金曜日(祝日を除く)

●高野子育て支援センター●

火曜日(祝日を除く)

いずれも 9:00~12:00 13:00~15:00

なかよしサロン(比和)

日時: 9月 8日(金) 10:00~12:00

場所: 比和子育て支援センター
(比和保育所内)

持参物: 水分補給できるもの

☆『救急法』

備北消防の方に来ていただきます。

乳幼児の救急法などを一緒に学びましょう。

子育て広場(口和)

日時: 9月 28日(木) 10:00~12:00

場所: 口和子育て支援センター
(口和老人福祉センター内)

参加費: 実費負担(1,000円程度)

持参物: 水分補給できるもの

申込先: 口和支所 0824-87-2112

口和子育て支援センター 0824-89-7070

☆『アロマでハンドクリーム作り』

瀬戸照美さんに来ていただきます。

アロマを使ってハンドクリーム作りを一緒にしましょう。

令和5年 8 月 9 日

地域の皆様へ

広島県北部建設事務所長
(庄 原 支 所)

道路斜面の安定度調査について(お知らせ)

県土木行政の推進については、平素から御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、広島県では、管理する道路沿いの斜面上部において、落石や土石流の危険性などの現地調査を県内全域で進めています。

現地調査に当たっては、民有地へ立ち入ることが想定されます。その必要がある場合には、道路法第66条に基づき、点検技術者が同条第5項に規定された身分を示す証票を携帯して調査を実施します。

皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

- 1 調査期間 令和5年8月下旬～令和6年2月下旬までの期間を予定しています。
- 2 調査会社 相生エンジニアリング(株)
電話 082-942-1241
- 3 調査路線 主要地方道：三次高野線、庄原作木線
一般県道：新市三次線
- 4 身分証明書 今回の作業に関する作業員は、次の様式身分証明書を携帯しておりますので、御不審な点がありましたら作業員に提示をお求めください。

(裏)

道路法抜すい	第六十六条 道路管理者又はその命じた者若しくはその委任を受けた者は、道路に関する調査、測量若しくは工事又は道路の維持のためやむを得ない必要がある場合においては、他人の土地に立ち入り、又は特別の用途のない他人の土地を材料置場若しくは作業場として一時使用することができる。
2	前項の規定により他人の土地に立ち入ろうとする場合においては、あらかじめ当該土地の占有者にその旨を通知しなければならない。但し、あらかじめ通知することが困難である場合においては、この限りでない。
3	前項の規定により宅地又はかき、さく等で囲まれた土地に立ち入ろうとする場合においては、立入の際あらかじめその旨を当該土地の占有者に告げなければならない。
4	日出前及び日没後においては、占有者の承諾があつた場合を除き、前項に規定する土地に立ち入つてはならない。
5	第一項の規定により他人の土地に立ち入ろうとする者は、その身分を示す証票を携帯し、関係人の請求があつた場合においては、これを呈示しなければならない。

(表)

第 号	身分証明書
所属	氏名
職名	年令
右は、道路法第六十六条第一項の規定により道路に関する調査等のため他人の土地に立ち入ることができる者であることを証する。	
交付年月日	
有効期間	
道路管理者	印

様式第六(第五案関係)

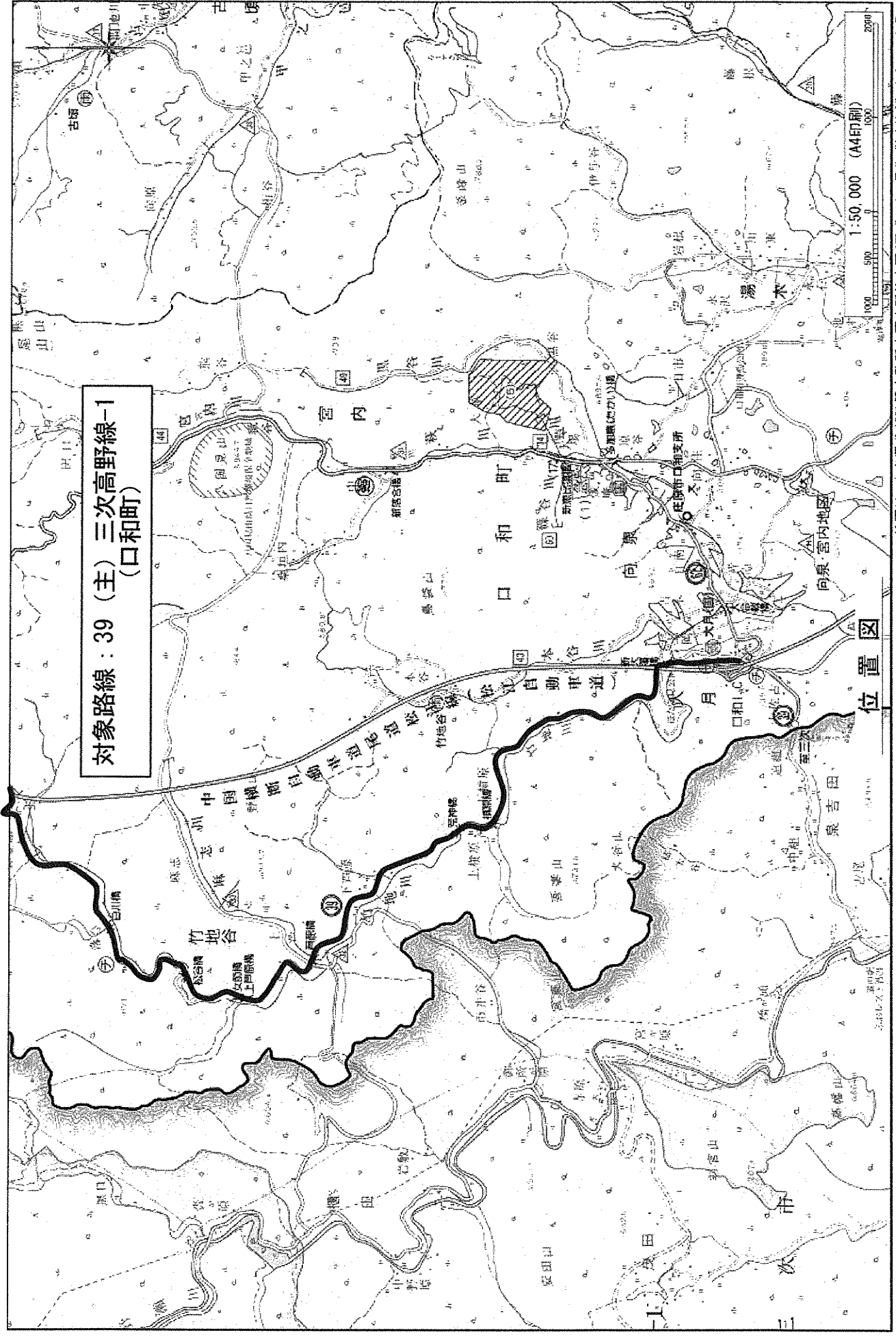
<問い合わせ先>

土木課維持第一係

担当者: 上坂, 小森

TEL: 0824-72-2015

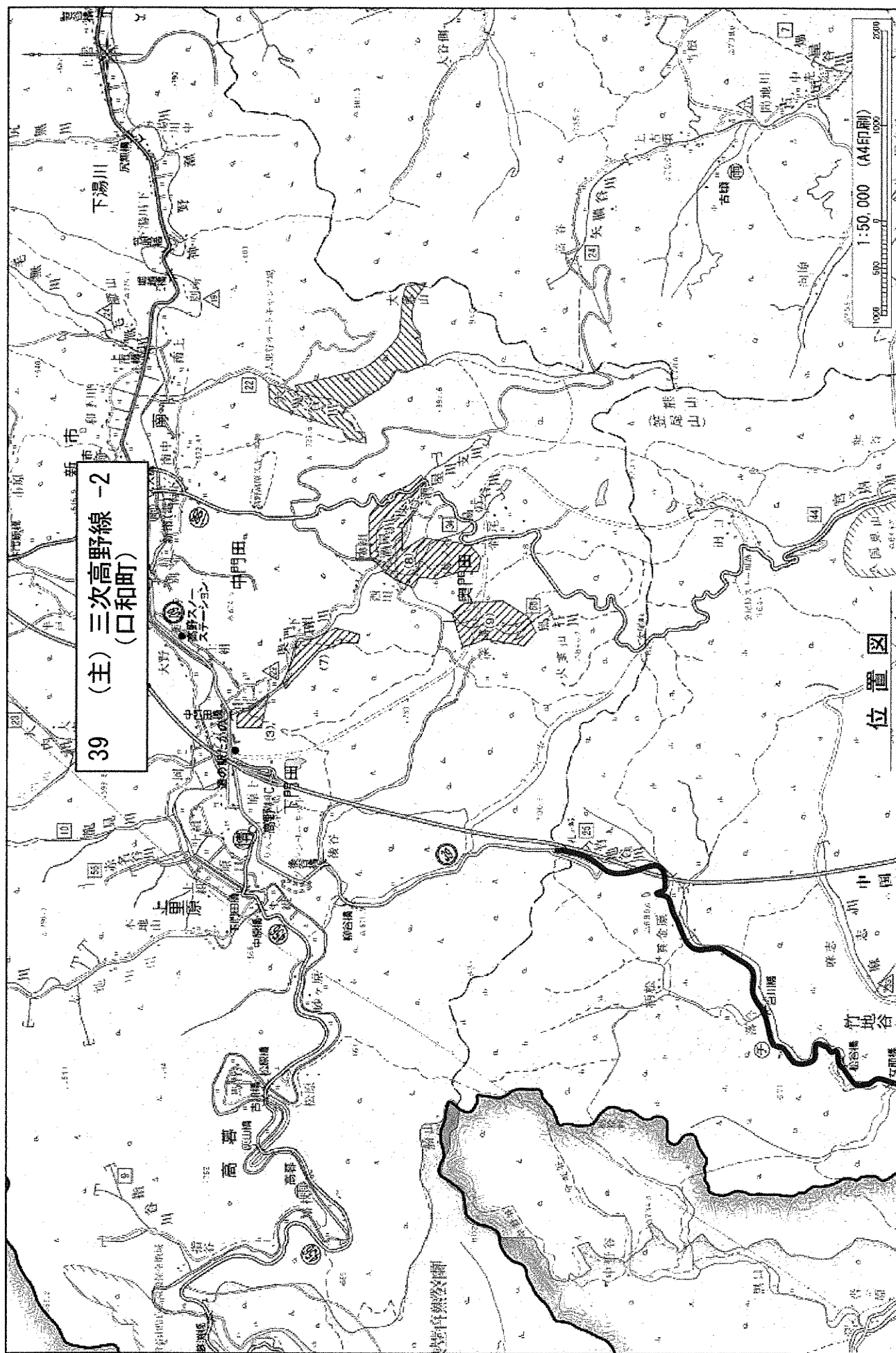
Mail: djnsdoboku@pref.hiroshima.lg.jp



対象路線：39（主）三次高野線-1
（口和町）

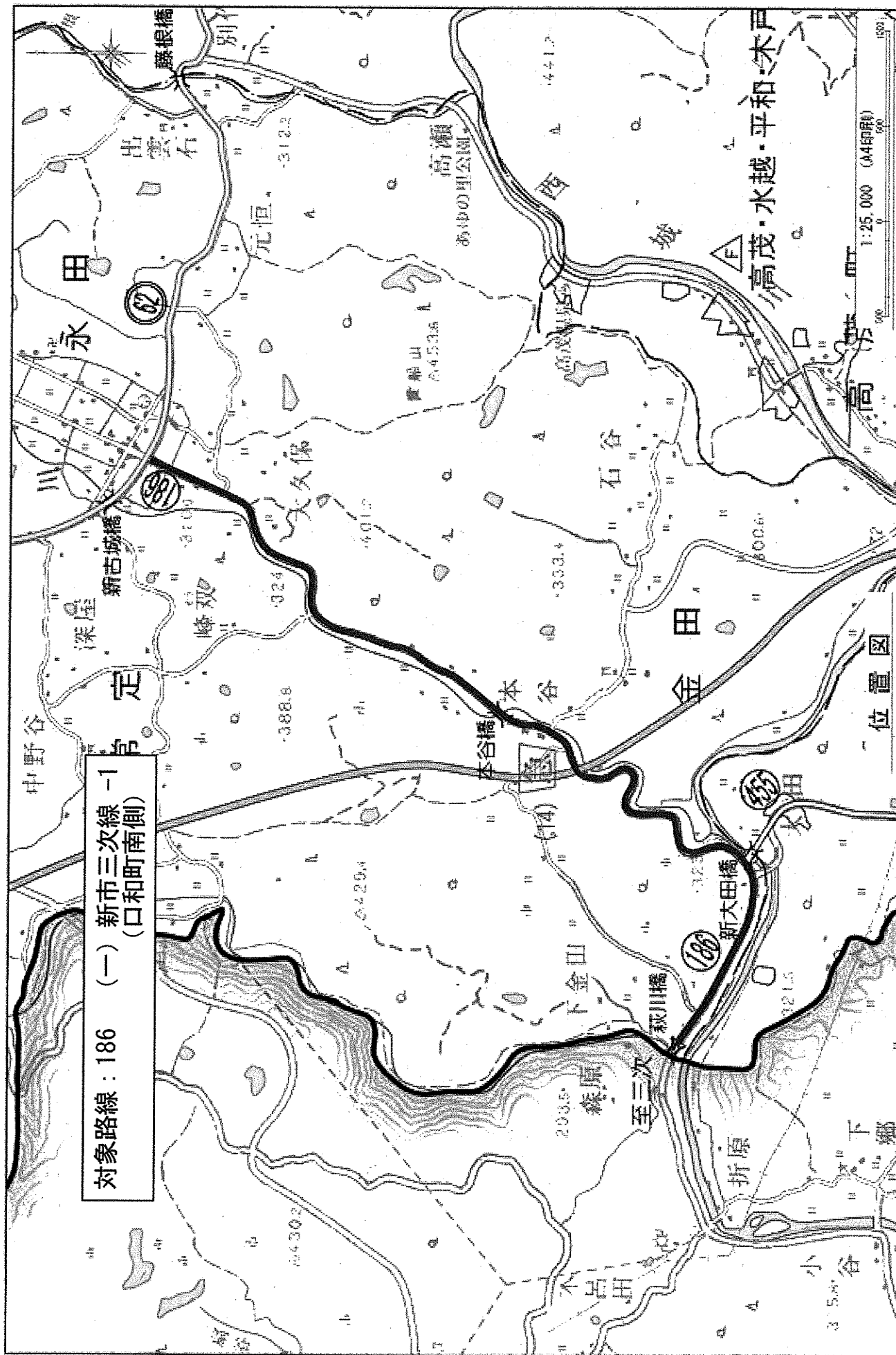
位置図

この地図は、広島県北部建設事務所庄原支所管内図（平成26年3月作成）を複製したものである。

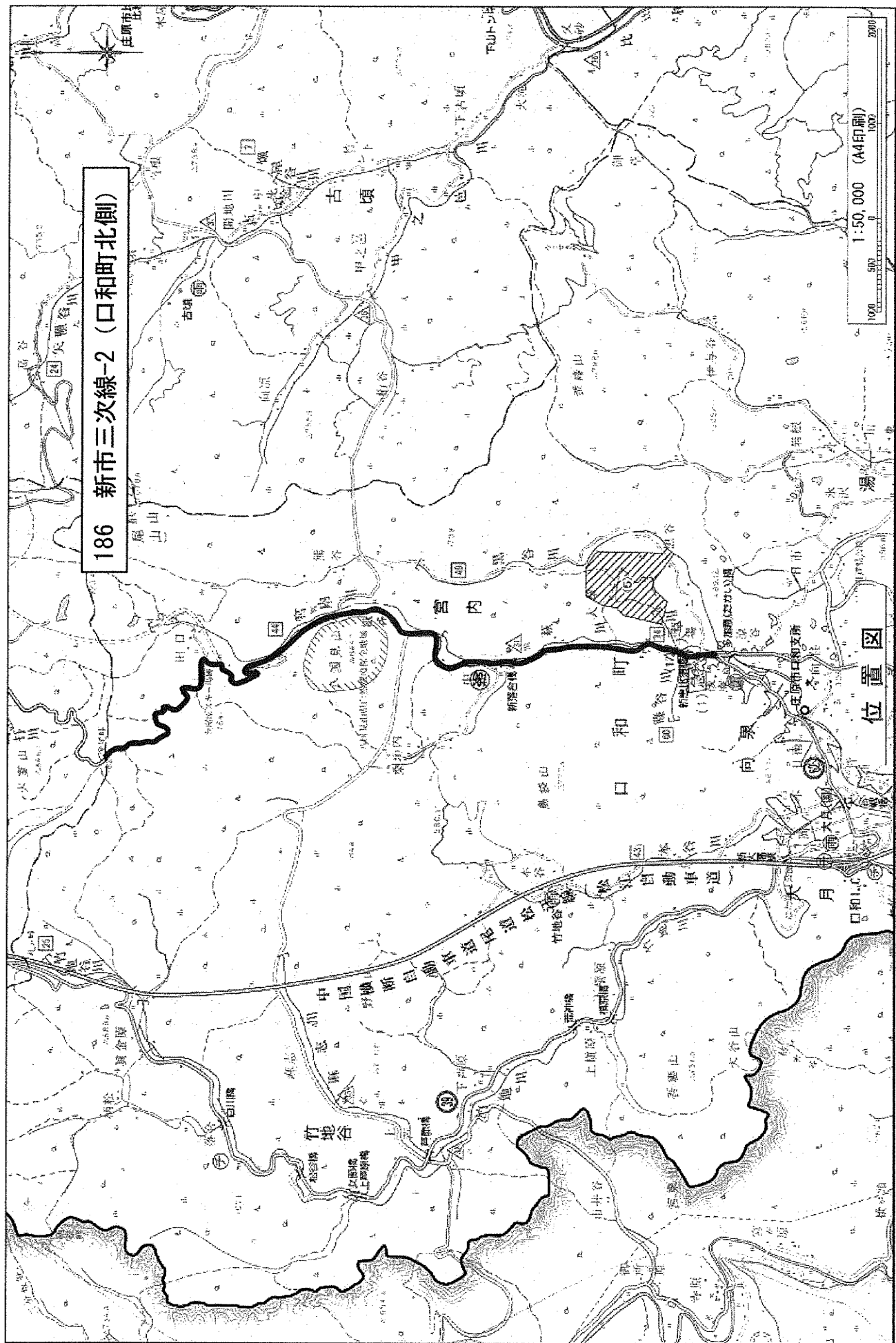


位置図

この地図は、広島県北部建設事務所庄原支所管内図（平成26年3月作成）を複製したものである。

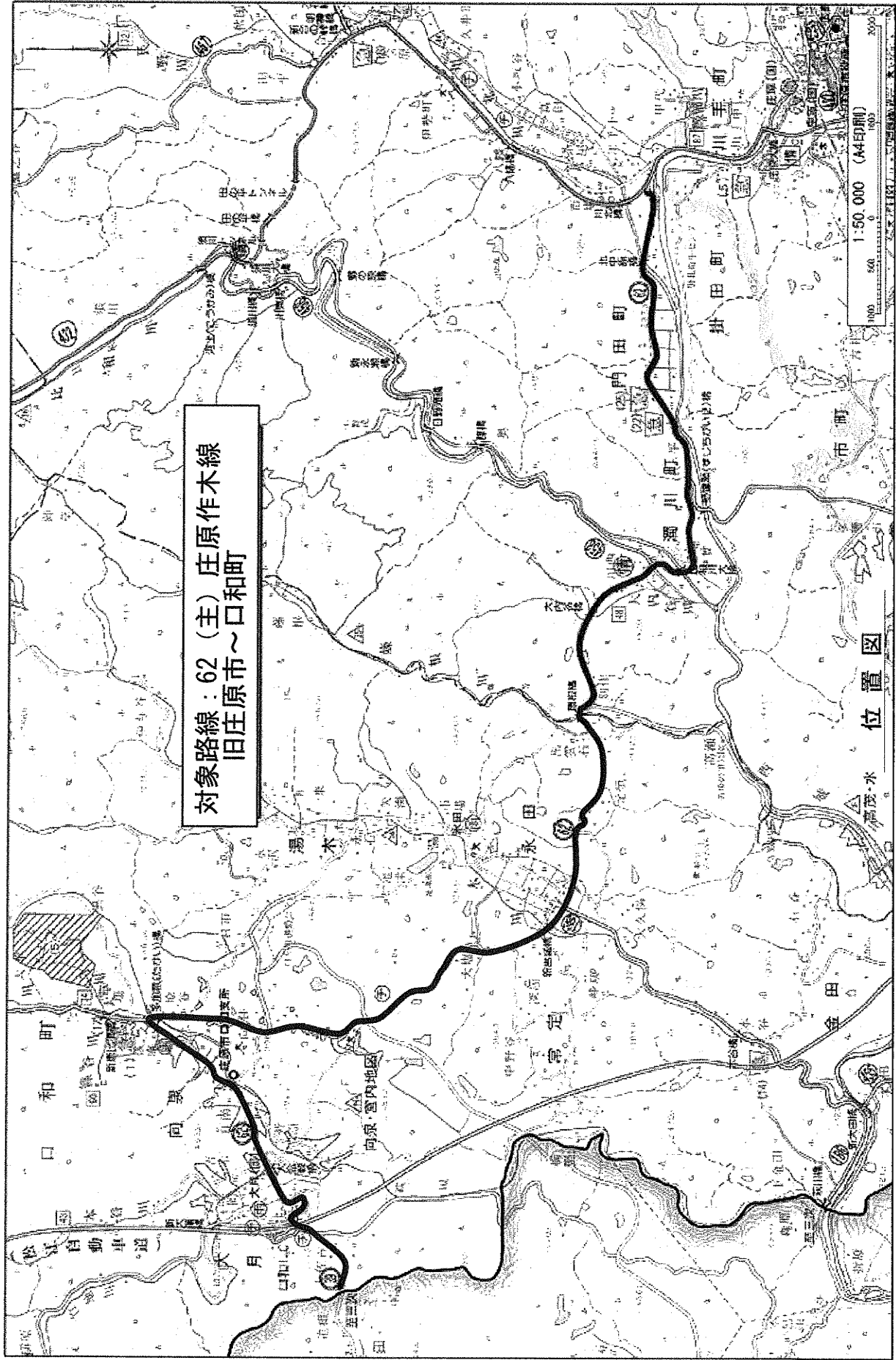


この地図は、在島県北部建設事務所所在県支所管内図(平成26年3月作成)を複製したものである。



位置図

この地図は、広島県北部建設事務所庄原支所管内図(平成26年3月作成)を複製したものである。



自分で自分の身体を整える
**セルフ
コンディショニング**

「最近、つまずきやすくなった…」「体力が落ちて外出がしんどい」「なんだか動きづらい」など、年齢を重ねることで身体の不調を感じていませんか？
自分で身体を整える運動やストレッチ、テニスボールを使ったマッサージを習ってみませんか。頭と体を使いながら楽しく運動をしましょう！

▶日 時 令和5年 9月 7日(木)

13:30~15:00

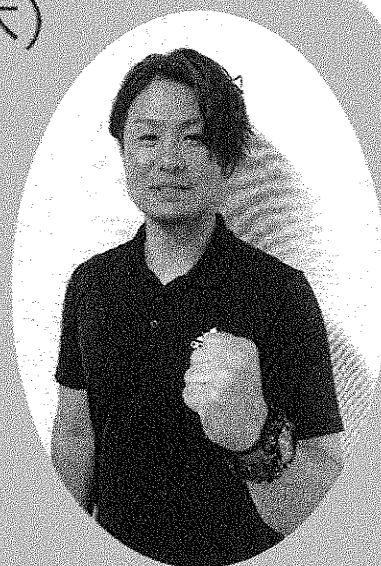
▶講 師 介護予防運動指導員

矢吹 祐次 氏

▶場 所 口和老人福祉センター

▶持 参 飲み物・タオル

※動きやすい服装でお越しください。



▶参加していただける方 口和町に在住の65歳以上の方

▶お申込み 庄原市社協 口和地域センター 89-2320

口和自治振興センター 87-2213

どちらかにお申込みください。

▶申込み締切り 9月4日(月)まで

ふれあいひろば

安心 元気な 口和の創造

口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4
【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135
【メール】kuchiawajichi@gmail.com 【設立】2010年

【口和クイズ】

常定川平2号遺跡の穴（直径1.5m、深さ1m）は
何の為に作られたものなのでしょうか？



公式HP



Facebook



Instagram

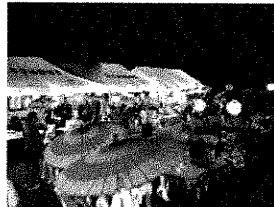


YouTube

お帰りなさい！ 久しぶり！ 夏の夜に咲く笑顔！

4年ぶりに「夏祭り」が口和にも帰ってきました。
前回の開催から役員顔ぶれも変わり「材料はどこで買よかったん？」
「提灯はどこに収めたかいの？」「みんな集まってくれてかね？」と久
しぶりの準備にとまどい苦労される場面もあったそうですが、天候に恵
まれ参加者は美味しいバザーや抽選会等を楽しみ、よもやま話や近況報
告で久しぶりの再会を喜ばれていました。

湯木釜峰自治会 8月13日(日)



盆踊り

永田ふれあい自治会 8月12日(土)



盆踊り

金田自治会 8月13日(日)



音楽会



盆踊り

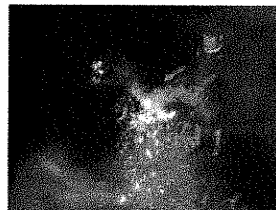


盆踊り



盆踊り

常定自治会 8月13日(日)



花火

宮内自治会 8月13日(日)



トランペットコンサート

向泉自治会 8月13日(日)



盆踊り



盆踊り



盆踊り



盆踊り

口和地域の記事や

写真など

皆さまの投稿

おまちしております！

口和地域データ

人口 1,753人 (-54)

世帯数 750 世帯 (-6)

令和5年7月末日現在/増減:前年同月比

有害鳥獣被害対策セミナー

「被害対策の先に見る地域づくり」と題して安田亮さん（梶根県美郷町美郷バレー課長）にお話ししていただきました。（7/19）

人口4千人の美郷町では、獣害対策の基本理念を共有する町外の力を呼び込み町の新たな力に変えていく「美郷バレー構想」を展開しています。これは新しい取り組みやノウハウを積極的に取り入れ地元の団体とつながり補助金に頼らない獣害対策を行うことで自立し主体性をもった地域となることを目指す取り組みです。

25年前、農家や住民がイノシシを獣害ではなく資源と捉えブランド化した「おおち山くじら」は、料理店で提供したり革製品を開発・販売することで捕獲の促進、処理負担の軽減、市場の開拓をただでなく、この取り組みに魅せられた若者や企業が閉所した保育所で缶詰工場を始めたり高齢化した山くじら生産者組合の事業を継承するなど個性ある地域づくりに成長したそうです。

獣害対策だけでなく人口減少、高齢化に悩む地域が参考にできるヒントがたくさん詰まった研修会でした。



グラウンドゴルフ（GG）で健康づくりと地域交流

暑さや雨天が心配された大会でもありましたが、会場は拍手や歓声、世間話がつきない賑やかで楽しい雰囲気でした。



	老人 GG 大会	女性 GG 大会	シニア GG 大会
月日	7月25日	8月1日	8月3日
参加	52人	10チーム	11チーム
順位	① 堀川眞弓 ② 堀川幸子 ③ 前住 勉 ④ 松島勝美 ⑤ 石川平三 ⑥ 池谷勝芳 ⑦ 宮野清志 ⑧ 旧谷哲夫 ⑨ 井上美恵子 ⑩ 岡田勇治 ⑪ 宮野克巳 ⑫ 森岡千代子	① 金田レディース ② レノボシックス ③ 宮内レディース ベストスカー賞 堀川眞弓(金田)	① 竹地宮ノ飲 ② 金尾原 ③ 金田レディース ベストスカー賞 増原豊(竹地谷)

心と緑♪暮らしに彩（いろどり）を♪



「苔玉の寄せ植え講座」では講師の桑野歩さんから植物の根を球状に苔で包み飾る苔玉の作り方や管理方法を学びました。（7/27）

地域が学校！地域が先生！

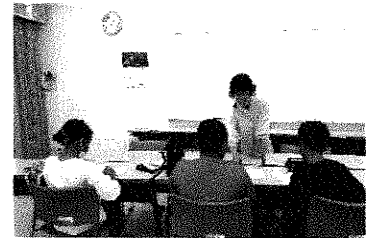
夏休み期間中に開催している「夏休みキッズわくわく教室」で、参加した子ども達は様々な体験・挑戦をしています。

「ふれあいスポーツ教室（8/4）」では、ニュースポーツ「フライングディスク」や「ボッチャ」「モルック」で対戦。なじみの薄い競技ですが、地域の方々と一緒に盛り上がりしました。

小学生と中学生を対象とした「英語教室（8/8、10）」では、英語の基本的な勉強方法、考え方を学んだあとゲームを楽しみました。



ふれあいスポーツ教室



英語教室

地域調査学習で地元愛を育む



「私たちの住んでいる町について調べる」という社会科の校外学習で中学2年生が口和自治振興区を訪問し、「自然環境・防災」「人口」「産業や土地

利用の変化」「交通の発達や他地域との結びつき」の四つのテーマに分かれ学びました。

それぞれの班から「どうやったら住みやすくなるんですか？」「昔はもっと飲食店があったんですか？」「交通の発達で変化はあったんですか？」「口和でよく起きる災害は何ですか？」等鋭い質問があり、これまでの経緯やこれからの計画をまとめお話ししました。

口和自治振興区では、これからも地元の小中学校や保育所の子どもたちと交流を楽しみにしています。（7/19）

戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える



口和本の会が口和小学校と口和中学校で、被爆体験記や戦争を描いた絵本を朗読する「被爆体験記朗読会」を開催しました。

会議速報

「どんなこと話しょうるん？」

口和自治振興区で開かれた様々な会議のあれやこれやを抜粋してお伝えします。

自治会長会議 7/24 (月)

●口和モーモー祭

- ・焼肉会場のスタッフ
- ・焼肉チケットの販売

●口和防災マップ

- ・自治会毎に各世帯へ配布

●口和町観光交流協会

- ・事務委託を受諾

青年部会 7/27 (木)

●夏休み映画上映会&満月マルシェの協力

- ・縁日コーナーの手伝い

●芸能祭前夜祭…11月25日(土)

【8月の主な行事】

1日	女性グラウンドゴルフ大会	8日	夏休み英語教室	21日	#口和が好き6号発行
2日	三者連絡会議(社協・振興区・市)	9日	配食サービス事業	22日	ワールドブック交流会
3日	小学生ふれあいスポーツ教室	10日	夏休み英語教室	23日	配食サービス事業
3日	シニアグラウンドゴルフ大会	18日	ヨガ・ピラティス講座	23日	市政懇談会
4日	行事のお知らせ 発行	20日	休日開放図書館	25日	映画上映会&満月マルシェ
4日	ヨガ・ピラティス講座	21日	ふれあいひろば169号発行		
7日	組織検討プロジェクト準備会	21日	防災だより55号発行		

地域マネージャー通信欄

川上良美
(福祉事業担当)

●竹地谷自治会デイホーム

7月23日に竹地谷自治会で4年ぶりのデイホームが開催されましたので、脳トレやゲイゴルゲーム・ボッチャなどのお手伝いに行きました。

久しぶりにみなさんのお元気な顔が見られてとても嬉しかったです。会場はとても和やかなムードで笑い声も多く会話も弾んでいました。

この地域は昔からよく集まって行事をされている地域なので、やはり馴染みの人間関係があることは、いいことだなあ～実感しました。



福田豊明
(防災事業担当)

●熱中症に気をつけましょう！

この夏、日本中を襲う殺人的な暑さが続いています。

今月の防災だよりも予定を変更して、熱中症の起こる原因と予防方法、熱中症の応急処置についてご紹介します。

適切な知識と対策を身につけ、この夏を過ごしましょう。どうぞ、ご家族やご近所の方々と共有してください。



松本晋太
(情報発信担当)

●暮らしたいまち 口和

今年は、各地で久々に開催される行事がたくさんあり、夏祭りも久しぶりのところが多かったと思います。

また、そのような行事に合わせてお子さんやお孫さんが久しぶりに帰省されたお家も多かったのではないのでしょうか。

口和以外に暮らす口和と縁のある方にも、口和のことを常に身近に感じてもらい、もしかしらいつか「また口和で暮らそう」と思ってもらえれば、と想いながら情報発信していきます。



おしらせ

口和グラウンド・ゴルフ大会

(兼)庄原市民健康つりグラウンド・ゴルフ大会予選会

日 程 9月6日(水)

時 間 受 付 18:30

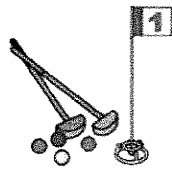
開会式 19:00

会 場 口和総合運動公園

参加費 2,000円(1チーム)

問合せ スポーツ協会(口和) 090-7897-7133

口和自治振興区 87-2213



健康寿命向上セミナー

日 時 9月7日(木) 13:30~15:00

会 場 口和老人福祉センター

参加費 無料

問合せ 庄原市社協(口和) 89-2320

口和自治振興区 87-2213

自分の体を整える
セルフメンテナンス
ニング

伝筆体験教室

日 時 9月26日(火) 10:00~12:00

会 場 口和自治振興センター

参加費 500円

講 師 中村由美江さま(一般社団法人伝筆協会認定 伝筆講師)

問合せ 口和自治振興区 87-2213

平家琵琶コンサート

日 時 9月24日(日)

18:00~19:00

会 場 口和自治振興センター

入場料 無料

出演者 荒尾努さま(平曲弾き語り奏者)

故金田一春彦先生、須田誠舟先生の下で平曲を学んだ
数少ない平曲継承者。テレビや神社仏閣、学校関係の
イベントなど国内外で活躍中。

問合せ 口和自治振興区 87-2213



「口和防災マップ」が完成。地域へ配布しています。

昨年度から自治会と振興区で編集・校正していた「口和防災
マップ」。今回は新たに浸水想定区域や避難ガイド等を追加し
ました。家庭や地域でご活用ください。

口和自治振興区「くちわっぷ」(公式HP)の更新情報

●口和防災アプリの「洪水・浸水の想定
される場所」をスマホ版に変更しまし
た。

●行事カレンダーを追加しました。

口和自治振興区からのお知らせや行事
の内容をご案内します。



9月の行事カレンダー

[] 内は、口和地域のゴミ収集日です。

★印…詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください

日程は諸事情により変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
					1 [燃えるごみ]	2
3	4 口和グラウンド・ゴル フ大会★ [プラスチック類]	5 行政文書 [燃えるごみ]	6 [その他紙類]	7 健康寿命向上セミナー★ [容器包装方紙パック]	8 ヨガ・ピラティス講座 [燃えるごみ]	9
10 [施設開放日]	11 総務部プロジェクト 準備会 [燃えないごみ]	12 老人部会 [燃えるごみ]	13 配食サービス事業 [新聞]	14 [容器包装方紙パック]	15 ヨガ・ピラティス講座 [燃えるごみ]	16 土曜本の会
17 休日開放図書館	18 [ピン・カン 有割]	19 [燃えるごみ]	20 行政文書 [その他紙類]	21 [容器包装方紙パック]	22 市老連GG大会 [燃えるごみ]	23
24 平家琵琶コンサート★ [施設開放日]	25 [ペットボトル 古着]	26 伝筆体験教室★ [燃えるごみ]	27 配食サービス事業 [ダンボール]	28 [容器包装方紙パック]	29 [燃えるごみ]	30

【口和クイズ】答え(クイズは1面)

クイズ 常定川平2号遺跡の穴(直径1.5m、深さ1
m)は何の為に作られたものでしょうか?

答 え 動物を捕まえる落とし穴



この遺跡のある斜面に、4基のたて穴
が列状に並び、穴の底から縄文土器片
が出土しています。出土遺物や立地条
件などから縄文時代の落とし穴と考え
られているんだモー。当時の人もイノ
シシを食べていたのかな?

日頃の備えで支え合いのまちを

防災だより

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

気を付けよう熱中症

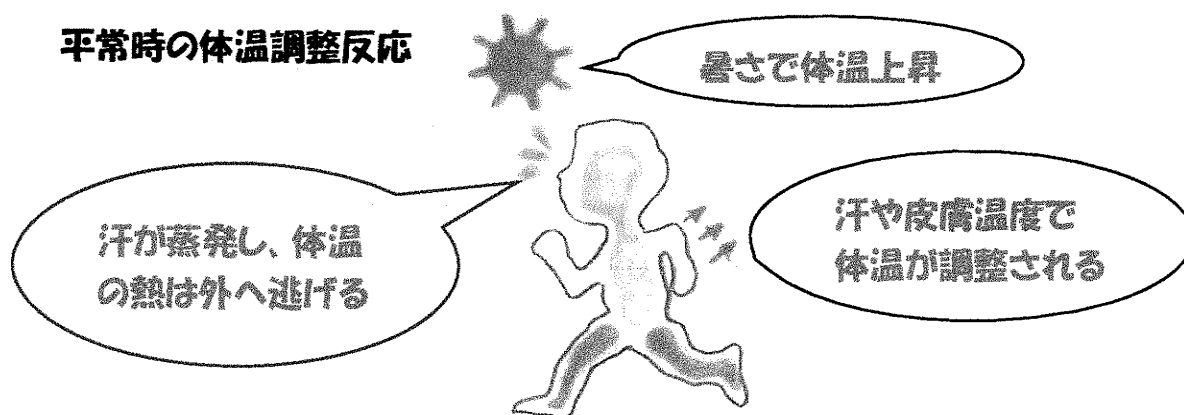
1] 熱中症とは

熱中症とは、気温が高い場所や、湿度が高い場所にいるうちに、体の体温調節機能のバランスが崩れ、体の調子が悪くなることをいいます。ひどい時には、命に関わることもあります。環境省熱中症予防情報サイトの資料を参照し、イラストを中心にまとめてみました。

2] 熱中症の起こる原因

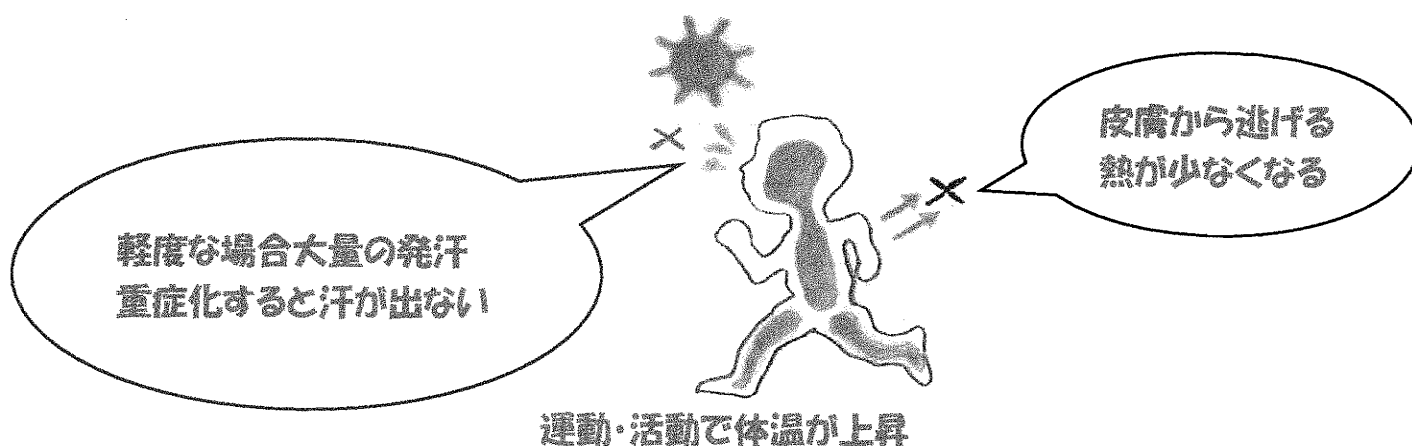
本来人間の体は、平常時は体温が上がっても汗や皮膚温度が上昇することで熱が外へ逃げる仕組みになっており、体温調節が行われます。

平常時の体温調整反応



運動・活動で体温が上昇すると汗や皮膚温度で体温が調整される

熱中症の状態、身体のバランスが破綻



3] 熱中症を予防するには

涼しい服装



日陰を利用



日傘・帽子

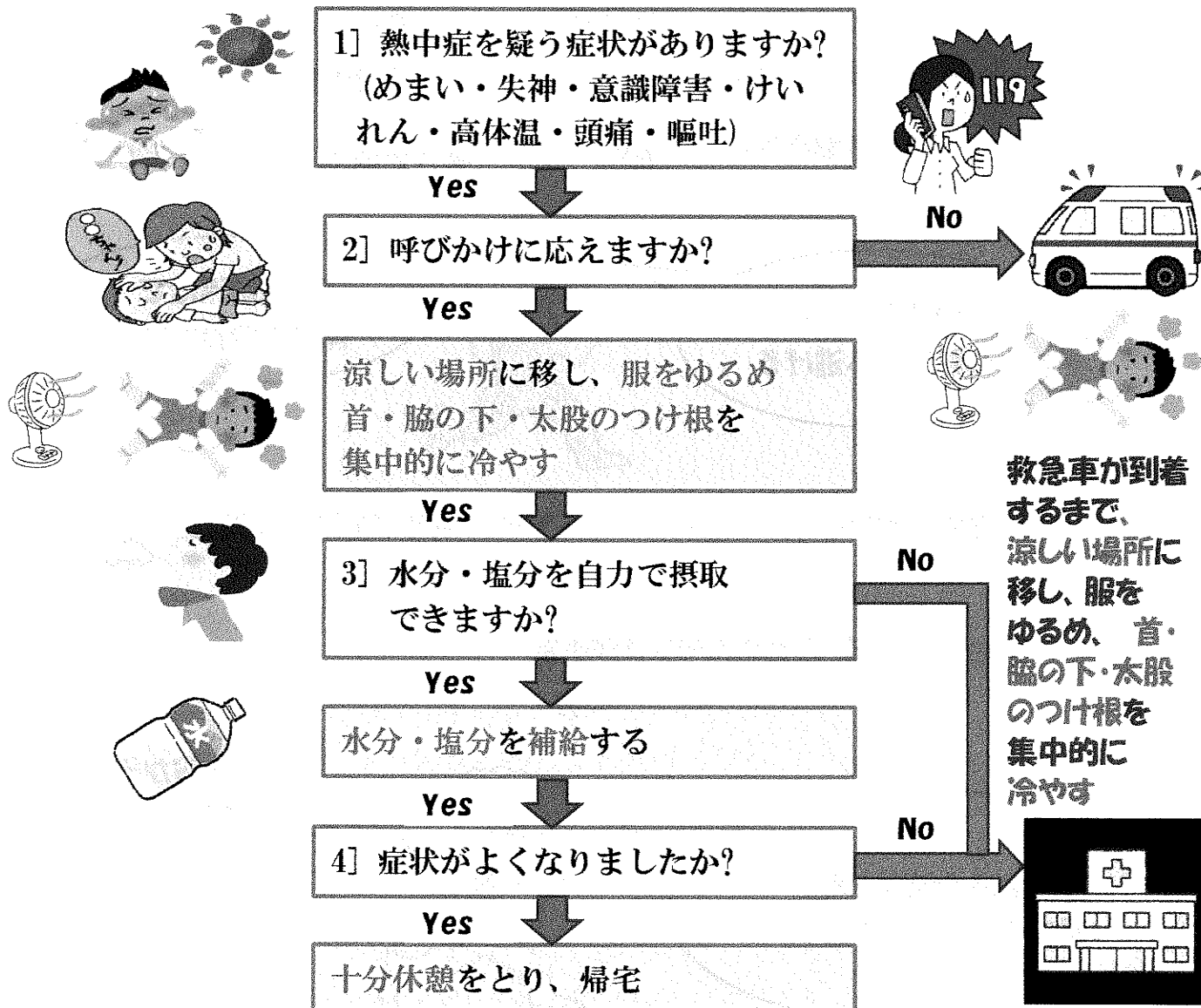


水分・塩分補給



- ・無理せず徐々に身体を暑さに慣らしましょう
- ・室内でも温度を測りましょう
- ・体調の悪い時は特に注意しましょう

4] 熱中症の応急処置



参照資料：環境省熱中症予防情報サイト資料

もっと知りたい口和をお届け！ #口和が好き

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

情報発信を担当する地域マネージャー・松本が、深堀り取材で意外と知らない口和の魅力をお伝え!! インスタグラムやフェイスブックでも発信中!!



公式 HP



Facebook



Instagram



YouTube

むずかしいからおもしろい



「ブドウづくり」

口和町永田 岡崎哲朗さん

みなさん、ブドウはお好きですか。ぼくは大好きです。弾力のある皮。あふれ出る果汁の甘味。ひろがる香り。口に入れることを想像すると、テーブルに並んでいるだけで笑顔になってしまいます。大切な人への贈り物や、自分と家族へのご褒美に選ばれるのも当然のことでしょう。

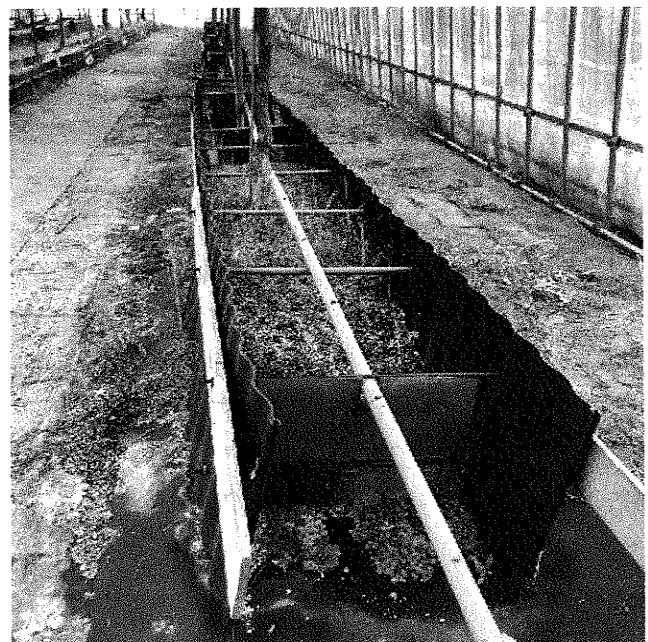
こんにちは、地域マネージャーの松本です。今回は永田でブドウづくりをされている岡崎哲朗さんにお話を伺ってきました。

岡崎さんのブドウ栽培は、ハウスの建設が2003年に始まり、最初の本を植えたのが2004年なので、もうすぐ20年になります。始まりは、稲作だけではなくもっと付加価値が高いものも作ろうと考えたのがきっかけで、稲作と並行してブドウづくりがはじまりました。

当時、三次でピオーネの生産は盛んになっていましたが、近所ではブドウどころか果樹を本格的に生産しているところもなく、当初3年間は定期的に県の果樹試験場から指導員の方が来て、その土地に適した栽培方法などのアドバイスをもらいました。

岡崎さんのブドウは、約2反の土地に建つ5棟のハウスで生産されています。このハウスが建っている土地はもともと田んぼだったところで、まさに稲作からの転換でした。ただ、田んぼの土にそのままブドウを植えてもうまくいきません。

そもそもブドウは、日当たりと水はけの良い土地を好むので、南向きの斜面のようなところでよく栽培されています。ところが、日当たりはともかく水はけという意味では田んぼは全く不向きです。そこで、果樹試験場から勧められたのが「鉢植え」による栽培です。鉢といっても陶器の植木鉢ではなく、盛り土の周囲と下面を囲い、その盛り土のなかだけに根を張るようにする栽培方法です。(写真参照)



鉢植えの様子

あともうひとつ、田んぼがブドウ栽培に不向きなことがあります。それは栄養が多いことです。農作物を育てるうえで栄養は重要ですが、ブドウは栄養が多すぎてもダメなのです。私たちが食べるブドウは果実の部分ですが、あれはブドウにとっては子孫にあたります。栄養が多いとブドウ自身が「子孫を残すより自分自身を大きくする」ことを優先してしまい、良い実を付けなくなるんだそうです。

よく考えれば、植物や動物がその場面ごとで最も適した選択をする、というのは当然のことなのかもしれませんが、一見なんにも考えてなさそうに見えるブドウが、実はちゃんと意図をもって生きているという具体的な事例を目の当たりにすると、やっぱり驚きです。岡崎さんからはこのような興味深いお話が次々と出てくるので、興奮が止まりません。

ブドウの栽培は、1本の幹が土から立ち上がり人の背ぐらいの高さから左右に枝を這わせて、その枝からほぼ等間隔に生えるさらに細い枝に付く実を収穫します。かたちとしてはアルファベットの「T」の左右の棒が長くなったような感じです。

ブドウとしてはまず自分が大きくなるのが重要なので、左右の枝の先端に養分を集めたいのです。その気持ちはわかりますが、そうすると根元に近いほうの部分には養分が行きにくくなり実も小さくなってしまいます。なので、先端の細い枝の勢いを減らすように剪定するなどして、全体のバランスを見て養分がなるべく均等にいくようにします。これがもう、ブドウの顔色を窺いブドウと対話しながらの、絶妙なさじ加減が必要な世界なのです。



たわわに実るシャインマスカット

それから、鉢植えなので、当然ブドウは根を張ることができる範囲が限られてきます。そうすると、なんということでしょう！ブドウは自分自身に限界を感じて、次世代に託すことに集中して良い実をつくるのです。ところが、実を付けすぎると翌年の収量が落ちてしまうので、子づくりにばかり集中されてもダメなのです。ここでも、絶妙のバランスが求められます。

また、ぼくはブドウにあげているのは当然水路の水だろうと勝手に想像していたのですが、なんと上水道のお水をあげているのです。その理由は栄養分。水路の水だと栄養が多すぎるのだそうです。

さらに、水やりの方法です。ブドウは水はけがよい環境を好むので、鉢植えも荒めの土で水はけをよくしてあります。しかし、難しいのは水が少なすぎてもダメなのです。本当にストライクゾーンが狭いです。その日ごとに天候、気温、湿度が異なるので、水やりのタイミングや必要量も当然異なります。

特に、鉢植えの場合は水を貯える量が少ないため、こまめな水の管理がとても重要です。ただし、これを手作業でやろうとすると、まるで一日中水やりをしているようになります。

そのため、岡崎さんのブドウ園では土にセンサーが埋めてあり、土中の水分量を常に把握して、一定以上低くなると水やりが自動で始まり、センサーの値が適量になると水が止まる仕組みになっています。

ブドウに関する興味深い知識を次から次へと聴かせてもらって、つい時間を忘れてしまうほどでした。

そしてもうひとつ。これはブドウの特徴というよりは、岡崎さん独自の方法としてとても興味深いものがあります。ご存知のように岡崎さんのブドウ園はハウスになっています。しかし、これは燃料で温めて早期に出荷するためのものではありません。もちろん、温室としての効果もありますが、これは減農薬のためにブドウ栽培をはじめの当初から計画的に作られたものなのです。

一般的に、ブドウには実がなると病害虫から守るために袋を掛けます。そして、それは農薬が実に掛からないためのものでもあるのです。ところが、岡崎さんのブドウ園ではハウスに目の細かいネットが張ってあり、これで虫の侵入を防いでいます。そのため、ブドウの実がなりはじめてからは、病害虫の心配も少なく農薬を使うこともありません。日焼けを防ぐために、薄い色のブドウに簡単な傘をつけるだけです。

「水で簡単に洗うくらいで直接口にするものなので、なるべく安心できるものをつくりたい」という岡崎さんの狙いがあのハウスには現れているのです。

実際、袋掛けをしていないブドウ園はほとんどなく、岡崎さんご自身も見たことがないそうです。

ただし、いまのようになるまでの道のりは簡単ではなく、虫を一匹ずつ手で取ったことや、病気にやられたブドウを何度も何度も捨てに行ったこともあるそうで、いまのスタイルを確立するまでに10年掛かったそうです。

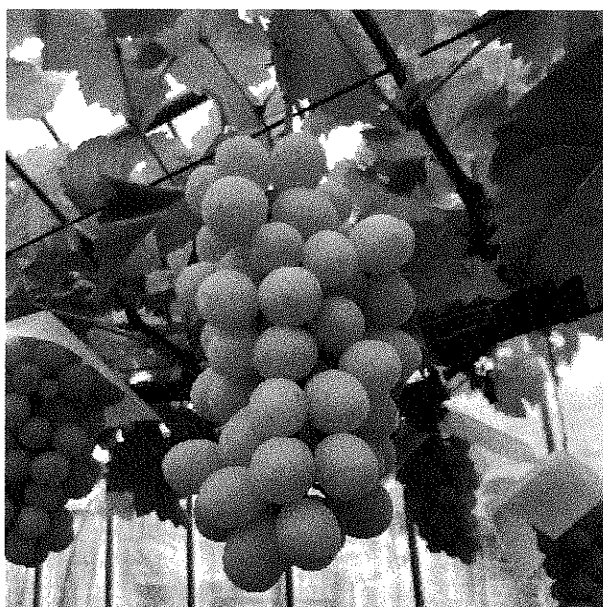
もちろん、これだけではない数々の失敗や苦労があったことと思います。近所には相談できる人もおらず、ブドウが病気になってもその原因がわからないから対処法もわからない。岡崎さんは「経験も大事だがまずは知識が重要だ」と仰います。知ったうえでの経験となにも知らないでの経験では、その中身が大きく異なります。

ブドウの産地ではない口和での挑戦だからこそ、より多くの困難があったと思いますが、そのぶん岡崎さんのなかには20年分の分厚い知識が蓄積されているのを強く感じました。いまでは、ブドウに出た異常を見ればだいたいの原因はわかるし、栽培方法をみればどんな症状が出やすいのかもだいたいわかるそうです。また、現在は県から「指導農業士」に認定され、後進の農家さんに指導やアドバイスもされています。



今回、お話を伺うなかで、岡崎さんは何度も「難しいけどおもしろい」と仰っていました。課題に直面し、その原因を見つけ出し、解決に導く。コトバで言うのは簡単です。しかし、実際には課題にちゃんと向き合わず、なんとなく解決したかのように体裁だけを整えてごまかすこと、意外とありますよね。しかし、相手がブドウの場合はちゃんと解決しなければ実をつけてくれません。枯れちゃうこともあります。岡崎さんが、この解決のプロセスを「おもしろい」と思える人だからこそ、ブドウづくりをこれまでつづけてこられたのだと思います。

でも、そう考えると自分じゃ無理かも、と弱気になってしまいそうですが、そうではありません。周りに誰もいなかった20年前の岡崎さんとはちがって、いまは岡崎さんという最高の先生がいるのです。岡崎さんも、気軽に見に来て欲しいと仰っているので、ブドウに興味がある方は、是非見学してみてください。お話を伺うだけでも、本当におもしろいからです。

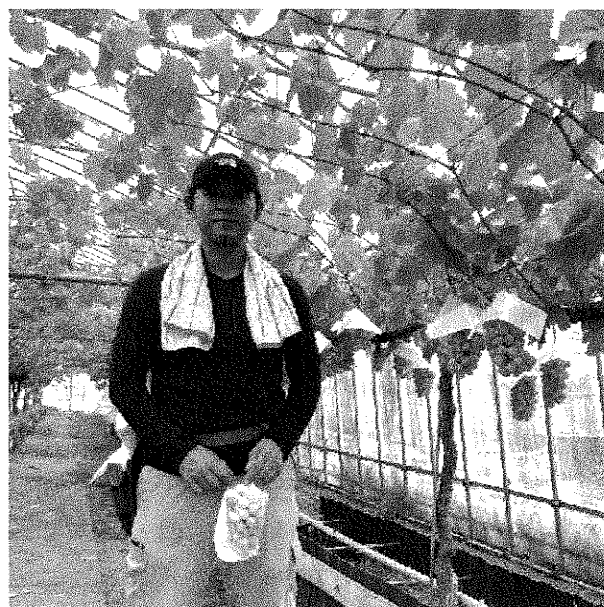


一番人気のシャインマスカット
溢れる果汁がたまりません

※撮影用に外していますが、ほかの房は日よけのかわいい傘をかぶっています。口和小学校の子どもたちが作業体験でかけてくれました。

現在、岡崎さんのブドウ園ではピオーネ、安芸クイーン、ゴルビー（悟紅玉）、シャインマスカット、涼香、リサマート、ロザリオピアンコの7種類を栽培しています。一番人気はシャインマスカット。人気の傾向をみながら品種の入れ替えをしています。まずはこの栽培方法に適していて、良い実をつけてくれるかが重要になります。

岡崎さんのブドウ園で収穫されたブドウはほぼ「道の駅たかの」に出荷されているそうで、時期としてはだいたい8月中までということです。まだ間に合うかもしれませんので、是非のぞいてみてください。



岡崎さん、出荷最盛期の朝という大変お忙しい時間に、ありがとうございました。

地域マネージャー 松本 晋太

【編集後記】

作物に適した土地で栽培することだけが正解なのではなくて、適していなくても工夫を重ねることで栽培できるようになる。例えば北海道で稲作とか。その工夫のひとつひとつが興味深くエキサイティングでドラマチックだということを知りました。ありがとうございました。

第17回 口和モーモー祭 焼肉チケット販売について

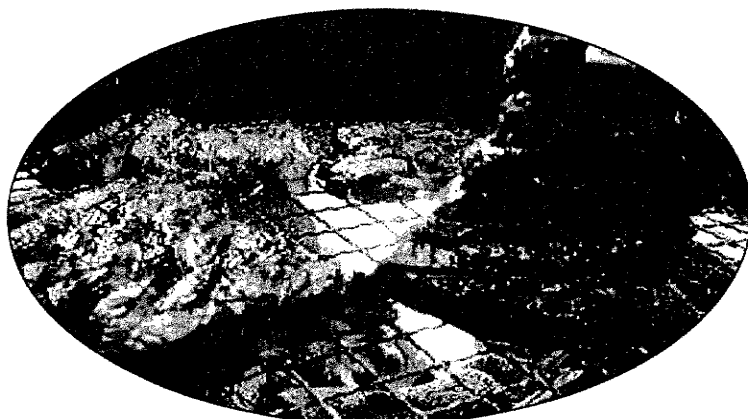
10月7日(土)、8日(日)に開催される「第17回口和モーモー祭」の焼肉チケット(前売券)の購入を希望される方は、次のいずれかの方法で購入することができます。 ※前売券・当日券はそれぞれ数に限りがあります。

- ① 各自治会の担当者(自治会長など)に連絡し、チケットを購入してください。
- ② 口和モーモー祭実行委員会 焼肉部会事務局(庄原市役所口和支所総務室)へおこしいただき、チケットを購入してください。(現金のみ)
- ③ 口和モーモー祭実行委員会 焼肉部会事務局に電話(0824-87-2111)やFAX(0824-87-2057)などで購入申し込みをしてください。後日請求書を送付しますので、代金を指定口座へお振込みください。入金確認後チケットを郵送します。

焼肉チケット：広島県産黒毛和牛 ロース180g

前売券 1枚 2,500円(消費税込)

※ 当日券は1枚 2,800円(消費税込)となります。



第17回口和モーモー祭

と き：令和5年10月7日(土)・8日(日)

ばしょ：庄原市口和総合運動公園 (広島県庄原市口和町湯木 1250-1)

第17回口和モーモー祭実行委員会 焼肉部会事務局 (庄原市役所口和支所総務室内)

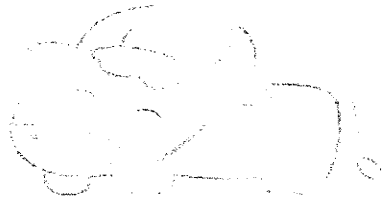
電話：0824-87-2111 / FAX：0824-87-2057

電子メールアドレス：soumu-kuc@city.shobara.lg.jp

裏面の焼肉チケット申込書をご利用ください。

第17回 口和モーモー祭焼肉チケット申込書

10月7日(土)、8日(日)に開催される第17回口和モーモー祭焼肉チケット(前売券)の購入を希望される方は、必要事項を記入の上、口和モーモー祭実行委員会 焼肉部会事務局(庄原市役所口和支所内)へ持参していただくか、電話(87-2111)・FAX(87-2057)・電子メール(soumu-kuc@city.shobara.lg.jp)にて購入申し込みをお願いします。



見て・食べて・参加して

焼肉前売券

※当日券は2,800円となります。(前売券・当日券はそれぞれ数に限りがあります。)

広島県産黒毛和牛

ロース肉(180g)

2,500円(消費税込) × 枚

焼肉チケット

申込者	住所	〒 <u> </u>
	フリガナ	
	氏名	
	連絡先電話番号	
	携帯電話番号	
	チケット引渡し 【どちらかに○】	☐ 【郵送】 請求書を送付しますので、代金を指定口座にお振込ください。 ＜入金確認後チケットを送付します。＞ ☐ 【庄原市役所口和支所】 ＜現金と引換でチケットをお渡します。＞

第17回 口和モーモー祭実行委員会 焼肉部会事務局

〒728-0502 庄原市口和町向泉 942 番地(庄原市役所口和支所 総務室内)

電話 0824-87-2111

FAX 0824-87-2057

メール soumu-kuc@city.shobara.lg.jp

※こちらは記入しないでください。

申込日	
申込番号	
チケット番号	
処理番号	